

第10回公開講座

キリスト教教育を考える

—それぞれの実践を通して—

日本の大学で唯一、「宗教教育科」「キリスト教教育学科」を有していた聖和大学が、関西学院と合併して10年が過ぎました。その伝統を引き継ぐ聖和短期大学キリスト教教育・保育研究センターでは2009年の設立当初より、年に一度公開講座を開催し、今年で第10回目をむかえることとなります。

そこで、節目となる今回の講座では、あらためて、「キリスト教教育」について共に考えたいと思います。社会やメディアが急激に変化する世界の中で、キリスト教教育にしかできないこととは、いったい何でしょうか。キリスト教教育に関わる各分野で、今日の課題と向き合っ歩いてこられた3名の方々をパネリストとしてお招きし、発題と語り合いを通して、今、キリスト教教育だからこそできることを展望したいと願っています。関心をおもちのみなさん、ぜひご参加ください。

日時:2019年9月3日(火)10:00~12:00 (受付9:30)

会場:関西学院西宮聖和キャンパス 山川記念館2階

メアリー・イザベラ・ランバスチャペル <入場無料 予約不要>

(※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。)

パネルフォーラム「今、キリスト教教育だからできること」

司会 小見のぞみ
(RCCEC主任研究員)

●キリスト教社会福祉を教える

山中 俊克 (茨城キリスト教大学生生活科学部教授)

●キリスト教保育・保育者養成の立場から

渡辺 のゆり (プール学院短期大学特任教授 名誉教授)

●教会教育の現場から

横田 明典 (日本基督教団近江金田教会牧師)

主催:聖和短期大学 キリスト教教育・保育研究センター(RCCEC)

〒662-0827 西宮市岡田山7-54 Fax 0798-52-6514 / tandai-jimu@kwansei.ac.jp (短大事務室)

